

Hita

卓上型ポットミル回転台

ANZシリーズ

ANZ-71S

操作マニュアル

日陶科学株式会社

はじめに

このたびは、ニットー卓上型ポットミル回転台<ANZシリーズ>をご購入いただき誠に有り難うございます。本機の機能を十二分に発揮し、安全にかつ、長期間快適にご使用いただくために、据付、運転、保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。

目次






1, 安全上の注意	2~3
2, 仕様	
2-1, 本体仕様	4
2-2, ポットミルと回転数の関係	4
2-3, 構造	4
3, 使用方法	
3-1, 設置	5
3-2, ポットミルの取扱	5
3-3, 運転方法	6
3-4, タイマーの設定	7
4, 故障・処置	
4-1, 故障とその処置	8
4-2, 過負荷状態	8
保証書	裏表紙








1, 安全上の注意

いずれも安全に関する重要な内容です、必ず守ってください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

	警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(左図の場合は感電注意)
		○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は接触禁止)
		●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)

 警告	
 指示	アースを確実に取付ける。 ・故障や漏電のときに感電する恐れがあります。 ・アースはガス管に絶対に取り付けしないでください。
 接触禁止	運転中はローラーやポットミルに触れない。 ・けがをする恐れがあります。
 分解禁止	分解・改造・修理はしない。 ・火災、感電、けがの原因となります。 ・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 禁止	子供だけで使わせない。 ・感電、けがをする恐れがあります。
 指示	電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く。 ・火災の原因になります。
 禁止	本体に水をかけたりしない。 ・ショート、感電の恐れがあります。

警告



指 示

電源プラグを濡れた手でさわらない。
・感電の恐れがあります。

注意



指 示

電源プラグを濡れた手でさわらない。
・感電の恐れがあります。
電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
・感電やショートして発火することがあります。



禁 止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。
・感電、ショート、発火の原因になります。
・お買い上げの販売店にご相談ください。



禁 止

水のかかるところや、火気の近くでは使用しない。
・感電や、漏電の原因になります。



禁 止

電源コードを傷めない。
・電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、はさみこんだり、加工しないでください。
・電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁 止

交流100V以外では使用しない。
・火災、感電の原因となります。



禁 止

不安定なところでは使用しない。
・けがの原因となります。



禁 止

本体に、重いものをのせたりしない。
・変形、破損、けがの原因となります。



禁 止

運転中に移動させない。
・けがの原因となります。



指 示

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。
・けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



指 示

お手入れのときは電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
・けがをする恐れがあります。

2, 仕 様

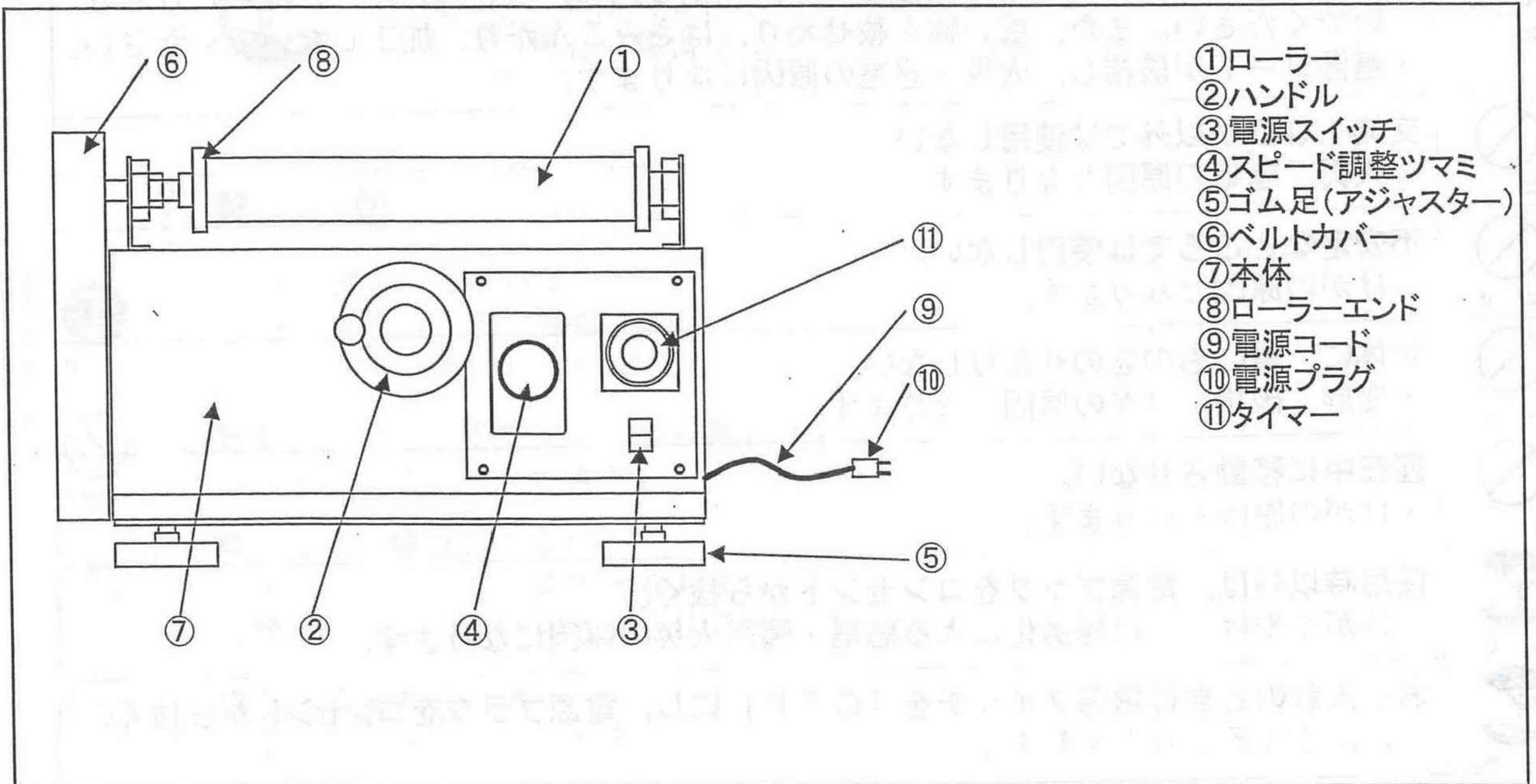
2-1, 本体仕様

A N Z - 7 1 S	
使用電源	AC100V・50/60HZ
消費電力	45W
ローラー回転数	20~400r/min(50/60HZ)
ローラー	38(φ) × 300(L) / 有効長300mm
外寸法	(W) 390 × (D) 270 × (H) 260 mm
重量	約16Kg
使用可能ポットミル	径 90~300mm(1個用) / 最大重量 約30Kg (試料含む)

2-2, ポットミルと回転数の関係(単位:約r/min)





ポットミル径	ANZ-71S(変速式)	
	50HZ	60HZ
90mm	5~133	6~156
150mm	5~80	6~94
180mm	5~66	5~77
210mm	5~58	5~68
240mm	4~52	4~61
300mm	3~43	3~50

2-3, 構 造





3, 使用方法

3-1, 設置/電源を入れる前に!

 注意	1, 本機を持ち運ぶ時は本体下部を持って運んでください。 ローラーを持って運ばないでください。 けが, 故障の原因となります。
 注意	2, 設置場所は水平なところに。 本機は水平に設置してください。 不陸がある場合は、本体下部のアジャスターで調整してください。 ・本体が傾いていると、使用中にポットミルがずれて落下する恐れがあります。 水平のとれた机 (台) の上に設置してください。
 警告	3, アースの確認 アースがアース端子に確実に取り付けられていることを確認してください。 ・故障や漏電時に感電するおそれがあります。 ・ガス管からは絶対にアースを取らないでください。
 警告	4, スイッチ・つまミの確認 変速タイプの場合はスピード調整つまみが「L0」側いっぱい、電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。 ・電源ケーブルをコンセントに差し込んだ時、急に稼動して大変危険です。

3-2, ポットミルの取扱

 注意	1, ポットミルを搭載する際には、電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。(変速タイプの場合はスピード調整つまみが「L0」側いっぱいになっていることを確認してください。) 電源プラグがコンセントから抜けていることも確認してください。 使用後の場合は、ローラーが完全に停止する事を確認してください。
 注意	2, ハンドルを回してローラーをスライドさせて、ローラーの目印を搭載するポットミルのサイズの日盛に合わせてください。 (次頁 図-2 参照) 3, ポットミルをローラーにのせます。 ・ポットミルがローラーエンドに接触しないようにのせてください。 ・ポットミルの上部がベルトカバーの逆に向く様にのせてください。 ・ポットミルをローラーにのせたままハンドルを回転しないでください。 怪我, 破損, 異常音の原因となります。

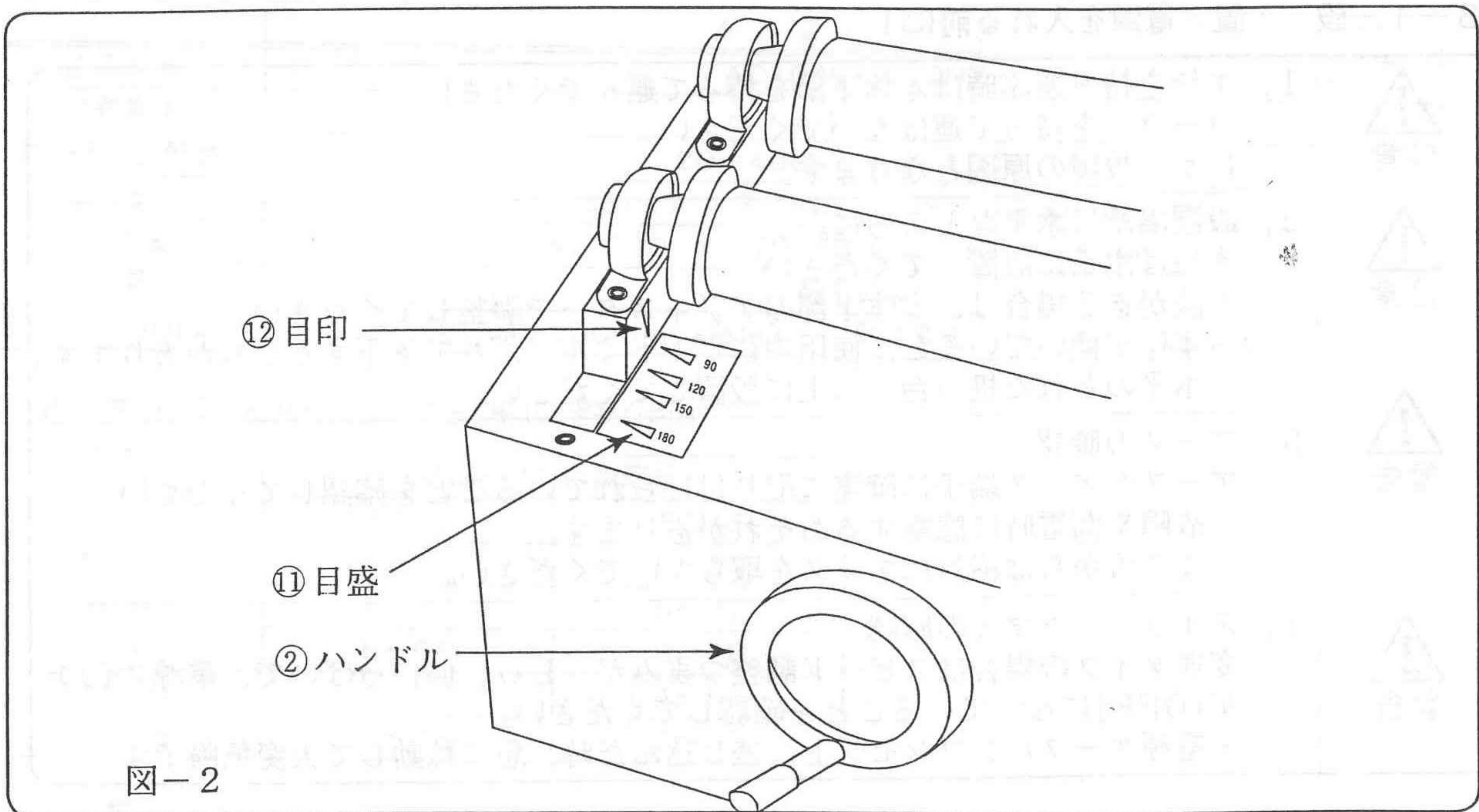


図-2

3-3, 運転方法

 注意	1, ポットミルに試料を入れて、フタをしめてください。 フタはしっかりとしめてください。
 注意	2, ポットミルをローラー間にゆっくりと正しくのせてください。 ・乱暴に載せるとローラーが歪んだり、怪我、故障の原因になります。
	3, 電源プラグをコンセントに差し込みます。
	4, 電源スイッチを「ON」にするとローラーの回転が始まります。 ・変速タイプの場合は主電源を入れてから、スピードコントローラーの電源を「ON」にし、スピード調整つまみを回して希望の回転数に調整してください。
	5, 電源スイッチを「OFF」にするとローラーの回転が停止します。
	6, ローラー上のポットミルをおろしてください。
	7, ポットミルのふたを開けて資料を取り出してください。
 注意	8, 使用後は電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。 怪我や火傷の、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となる恐れがあります。

3-4. タイマーの設定

本機に搭載のタイマーは時間設定が多様で幅広い用途でご使用いただけます。

- ・ 時間単位 / 10時間, 時間, 分, 秒, の4種
- ・ 目盛数字 / 1.2, 3.0, 12.0, 30.0 の4目盛
- ・ 最高300時間, 計16パターンのタイマーを選択可能

※出荷時は時間単位/時間, 目盛数字/30の30時間タイマーに初期設定されています。

※⑥動作モードが「E」になっていることを確認してください。「A」モードは本機では使用しません。



1, ④時間単位切替つまみを回して時間単位をセットします。
つまみの回転操作は精密ドライバー等で行ってください。

2, ③目盛数字切替つまみを回して目盛りをセットします。

3, ⑤セットダイヤルを回して希望の時間を設定します。

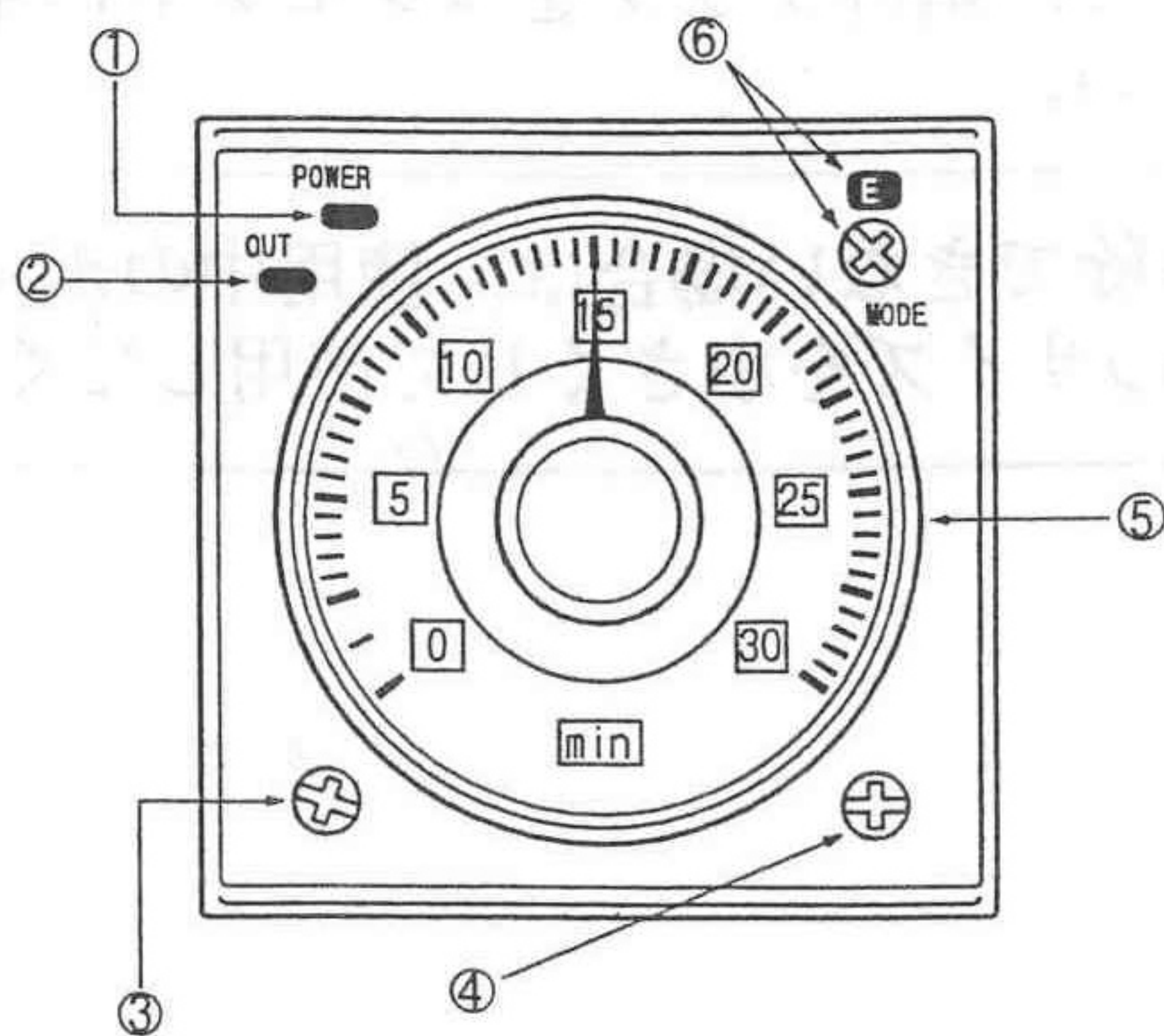
4, 電源スイッチを入れると動作を開始します。
設定時間になると自動的に電源をきります。



5, 使用後は電源スイッチを「OFF」にし, 電源プラグをコンセントから抜いてください。

怪我や火傷の, 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となる恐れがあります。

<タイマー>



- ①動作/通電ランプ
- ②出力表示ランプ
- ③目盛数字切替つまみ
- ④時間単位切替つまみ
- ⑤セットダイヤル
- ⑥動作モード切替

4. 故障処置

4-1, 故障とその処置

- ◎使用中に異常が生じた場合は、ただちに使用を中止して、電源スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ◎電源スイッチ「ON」にしてもローラーが回転しない場合は、事項を参照に「過負荷状態の解除」操作を行ってください。それでもローラーが回転しない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◎この取扱説明書を熟読いただき、それでも不具合の生じる場合は、あるいは不明な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

4-2, 過負荷状態

過負荷状態とは

ポットミルからローラーへの負荷が大きすぎるため電源スイッチを「ON」にしてもローラーが回転せず停止している状態をいいます。

このような状態の時は以下の操作を行って過負荷状態を解除してからご使用ください。



注意

過負荷状態で止まっているポットミルやローラーに触れないでください。
停止しているモーターが動作して、急にローラーが回転することがあり大変危険です。

1, 変速タイプの場合はスピード調整ツマミを「LO」側いっぱいに戻してください。電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。

2, ローラー上のポットミルをおろしてください。



注意

3, ハンドルを回してローラーを移動させ、現在使用している目盛りより1サイズ小さい目盛りに合わせ、ローラー間を狭くします。

※1サイズ以上目盛りを落とさないでください。ローラー間が狭くなりすぎ、安定感が無くなり、回転中にポットミルが脱落する恐れがあります。

4, 再びポットミルをローラー間上にのせて、電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にしてください。

5, 以上の作業を行っても過負荷状態が解除できない場合は、使用中のポットミルの試料、ボールを減らすか、ポットミルのサイズを小さくして使用してください。

【保証規定】

1. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常なる使用状態において、
万一故障した場合には無償で修理いたします。
2. 次の場合には保証が出来かねますのでご了承ください。
 - ① ご購入後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
 - ② 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ③ 火災、天災、異常電圧等による故障及び損傷。
 - ④ 本保証書の提示のない場合。
 - ⑤ 本保証書の所定事項に偽りが記載されている場合。
また、字句を訂正された場合。

株式会社 友邦学研機器

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
E-MAIL: info@yubun.co.jp

HiTTO

保証書

お客様	ご住所	□□□-□□□□
	ご芳名	TEL - - - 様
お買上店	住所・店名	®

品名	ポットミル回転台 ANZ-71S		
番号	お買上日	年	月 日

この保証書は、ご購入の当社製品の優れた品質を証明し、かつ通常の取扱いによって発生した一切の自然故障に対して、裏面記載の保証規定に基づき、当社が無償修理の責任を負うことを保証するものであります。

総発売元  **日陶科学株式会社**

本社 名古屋市東区徳川二丁目18番3号
電話(052)935-8976(代)〒461-0025
東京支店 東京都練馬区小竹町二丁目53番2号
電話(03)3974-8931(代)〒176-0004

〈控 え〉

製 品 名	ポットミル回転台 ANZ-71S	製 造 番 号	
ご 購 入 日			
ご 芳 名			
ご 住 所			
ご 購 入 販 売 店			

キトリ



日陶科学株式会社

本 社 〒461-0025 名古屋市東区徳川二丁目18番3号
電 話 (052)935-8976(代) FAX.(052)935-5283(代)
東京支店 〒176-0004 東京都練馬区小竹町二丁目53番2号
電 話 (03)3974-8931(代) FAX.(03)3974-8947